



さくくら RA



Mar.2017

発行ノボーイスカウト世田谷第5団広報部

2月19日 団行事 BP祭

ビーバー隊

ビーバー隊

隊長 草嶋隆行

団行事のBP祭です。普通の誕生会とはちょっと違う、主役が『いない』誕生会です。年上のスカウトと共に、約束やきまりをそれぞれが述べて、ろうそくを立てていきます。団委員長のお話し通り、親や隊長に言われたから、ではなく、自分自身に対する誓い、なわけですが、ビーバー世代には少し難しかったかな？個々のことは別にして、年上のスカウトの姿を見ながら、将来の成長したスカウトとしての姿をボンヤリとでも想像できたのではないのでしょうか。

カブ隊

副長 太田雄介

午前中は世田谷5団の各隊が一堂に会してのBP祭でした。ボーイ隊の6年生たちとは、上進以来久しぶりに会いましたが、みんな落ち着いた大人っぽい表情に変わっていて、時の流れを感じました。

BP祭とは、ボーイスカウトを創立したベーデンパウエル卿 (BP) の生誕を祝う会です。奥沢区民会館の窓は暗幕が引かれ、厳かな雰囲気の中、ビーバー隊から順に誓いの言葉とともに、ろうそくの点灯を行います。

セレモニーの後は、ゾンビ対スカウトのフットボールゲームが行われました。ビーバー・カブ隊チームがパス回しする鈴付きのボールを、お化けの仮面で目隠しされたボーイ隊が、音を頼りに奪い取るというゲームです。ひとしきり盛り上がったのちに、余った時間でドッジボール大会をしました。これも、ボーイ隊×ビーバー・カブ隊混成チームの戦いでしたが、非常に白熱した試合になりました。式の始めには落ち着いて見えたボーイ隊のスカウトたちも、最後はやはり少年らしく、かなり本気で楽しんでいました。

午後、カブ隊は横浜線の反町駅にあるスケートリンクに移動して、アイススケートをしました。去年、リニューアルしたスケート場なので非常に施設がきれい、滑りやすく、大勢の人で賑わっています。僕は、うさぎの中でも初めてスケートを滑るという子たち数人に、端を歩く練習から転び方、バランスの取り方などを教えました。小一時間一緒にそれをやれば、だいたいみんなひとりでリンクに出られるようになります。後半は自由に滑りながら、くまスカウトとちょっとし



た競争をしたりと、楽しみました。BP祭が予定よりも早く終わったせいで、去年よりも30分滑る時間が多かったのですが、さすがに最後は脚が痛みました。スケート後には目の前の公園で、きつねの尻尾取りを何セットかやって、予定通りの時刻に九品仏まで帰りました。

1組 DL 秋山真一

スカウトの創始者ベーデン=パウエル卿 (BP) の生誕を祝うBP祭では、厳かにカブスカウトの誓いの言葉を述べました。その後のゲームではゾンビ・サッカーとドッジボール。目の見えないゾンビが音を頼りに襲いかかるのを華麗なパス回しでしのぐゲームなのですが、ゾンビが大人気で、途中からカブスカウトもゾンビになりました。

ボーイ隊やビーバー隊と分かれた後は反町に移動し、スケートです。予定よりも早く着いたため、たっぴりとスケートを楽しむことができました。最初はこわごわ腰が引けているスカウトもいましたが、あっという間に上達し、元気に滑っていました。

2組 くま

今日、ぼくが一番楽しかったのはスケートです。ものすごく転んだけど、だいぶすべれるようになりました。

ぼくは長井くんといっしょにずっとすべっていました。けっこうスピードも出て楽しかったです。

BP祭は、ビーバー、カブ、ボーイ、ローバーの数少ない集まる機会なので、参加できてとても楽しかったです。

しか3組

アイススケートは今回で3回目でした。思った以上にスピードを出せたので、あせをたくさんかいて、のどもカラカラになりました。



ボーイ隊

BS隊 トナカイ班

今回の活動では、僕が花粉症だったので、早く帰ってしまったのですが、とても充実した活動だったのでないかなと思います。最初はBP祭で、後半は隊行動でしたが、特に問題はなく、みんな集中していたのではないかなと思います。あっという間に、みんな大きくなってしまい、一ヵ月後には、小針君が進級してしまい、僕たちもあまり活動に出れなくなってしまうかもしれないけどできるだけ活動に参加したいと思っているので、みんながんばっていきましょう。



ビーバー隊

2月5日 大池小池ハイク

ビーバー隊

隊長 草嶋隆行

ミニハイクとして大池小池に行きました！実は私も知りませんでしたが、大池とは洗足池のこと、そして、小池は近くの小池です(笑)。大岡山から洗足池まで歩きます。みんなで洗足池の水源を探そう！というテーマで歩きました。大岡山、という地名の通り、駅は山の上です。そして、池は確かに低い所にありました！歩いてみるとよくわかりますが、結構アップダウンがあるのがこの境界の特徴です。駅からはひたすら下り、あっさり池に着くと、野鳥観察です。カモなどよく見る渡り鳥は勿論、凄いカメラを据えたバードウォッチャーもちらほら。。。どんな鳥がいるのでしょ？その答えがポート乗り場に写真で展示されていました。フクロウやワシなども観察されたようです。日頃よく見る鳥だけではなく、珍しい生き物もしっかり目を凝らせばいるよ、ということが分かったんじゃないでしょうか？

引き続き、小池に行き、ちょっと遊具で遊んだ後は九品仏まで歩きました。中原街道から分かれ道に入りましたが、至九品仏、という昔からの石標をみつけたりして、歴史にも触れることができました。合計4キロくらいのハイクでしたが、自然、歴史に触れることができました。スカウトそれぞれの興味をどこまで広げられたかはわかりませんが、これからもプログラム工夫をしていきます！



カブ隊

2月12日 てくたくハイク

副長 本間 千香

本日の活動は 世田谷区から発行されている てくたくぶっく九品仏コースをめぐる企画でした。私たちの近所に 小さな石碑があり その石碑を探し拓本を取っていくとゆうものです。今までは 分割して 午前活動にしていたのですが 今回初チャレンジ!! 1日で回ってこようと企画し 回る箇所が30箇所約13キロと とてもとても スカウトには回れないだろうと思いつつながらもまだまだ肌寒い9時20分スタート。

各組で回るルートを考え 地図を見る係 タイムキーパーなどなど スカウト同士で役割を決めて回ることができるようになっていたので 嬉しいかったですね。これも 一年間共に活動し 一緒に寝床を共にした同士なのではないでしょうか。

昼食も各組ごとにと指示を出したのですが 2組はたまたま 同じ場所で遭遇し 一緒に食べたそうです。も



う1組も少し離れた公園で食べていたとなかなかバラバラかとおもいきや近くでカブ弁を取れたことにもよかったです。

この広い尾山台～奥沢の範囲 彼らにはまだまだ距離感がつかめないと思いますが 普通に歩いて約13キロの距離を歩ききり 早さは競ってないのですが1組がダントツ 13:20には交番裏に戻ってきていて 私の予測から1時間も早くの回ってきたのはびっくりでした。

そのあと 14時を過ぎて2組 1人だけ欠席の3組が戻ってきました。3組はメンバー6人と参加スカウトが多かったぶん 拓本を取る時間にとられ 二箇所断念しての戻りで今回は点数をつけ 出席1点 1箇所回ると1点 10分遅刻で減点1点とした結果 二箇所断念したけれど出席者が多かったとゆうことで 3組が1位とゆう結果でした。

3組とも 時間内にもどり 3組の内 2組が完歩したことに褒めてあげたいです。

今回のてくたくで 私はいろいろなことにきづかされ スカウトの成長を感じることができました。

クマとの活動もあと3回です。毎回楽しんでいきたいと思います。

1組 うさぎ

僕は時間記録係をしました。

必要ないなと思っていたけれど、あとからそこに行くまでの時間を予想し、あと何分で着くのかつのかわかるようになりました。

3組の頭脳で勝ちました。

でも少し疲れしました。13kmあると聞いたのでビックリしました。

1組うさぎ

てくたくハイクでは、30か所まわれないとぼくは思っただけ急いでまわりました。

そしたら、30か所回れて時間もあまったので、よかったです。じゅん位は、2位だったけど30か所をまわられてよかったです。

ボーイ隊

1月29日 月の輪ハイク@羽田・駒沢公園・東京駅

BS隊 カモメ班

今回のハイクは、自分たちで日本の歴史を学べるハイクになるよう計画し実行しました。計画にあたりルートについての詳しい内容を調べるのに苦労しました。僕たちのルートは駒沢公園から松陰神社まで行き奥沢区民センターに戻ってくるというルートでした。当日はタイムスケジュール通りに動くことができました。また松陰神社では、銅像に記してある吉田松陰の幼少時代の苦労を知る事ができました。



ローバー隊

ローバー隊 山根 徳仁

私にとってボーイスカウトとは何か？ さくら3月号にローバースカウトとして文章を書くことになって、また、先月号の松谷の文章を読んで、そんなことを考えた。結論を言えば、私にとってボーイスカウトは誇りである。そして、誇りを与えてくれたボーイスカウトに心から感謝している。私がボーイスカウトに入ったきっかけは、友人の紹介だった。今から振り返ると、その友人に大変感謝するとともに、縁というものの不思議を感じる。しかし当時は、不安な気持ちが強かった。私はボーイ隊から入団したので、初めの頃、皆と上手く打ち解けられるか心配だったのだ。だが実際には私の不安は杞憂であった。ボーイスカウトの人たちは皆ユニークで、普段出来ないような活動もたくさん出来た。私はすぐに、毎回毎回の活動が楽しみで仕方なくなった。

ボーイスカウトは班活動が基本だ。自分の班を上手く運営し、他の班に負けまいと頑張る。そうする中で協調性と競争心が育まれるのだ。つまりは二重の意味で、お互い刺激し合える環境をボーイスカウトの班活動は用意してくれる。

協調性と競争心が大事であるということは、アルバイトをやっている一番強く実感する。アルバイトでは一人で出来る単純作業もやるけれども、一人ではこなせず仲間との連携が必要となる仕事の方がずっと多い。それに、長くアルバイトをやっていると、仕事の範囲が増えて内容も高度になっていくので、仲間と互いにスキルを高め合っていく必要もある。仲間と連携し高め合うことが出来ないと、良きアルバイトにはなれない。私がボーイスカウトで培った協調性と競争心は、アルバイトとしてもとても役に立っている。

アルバイト以外でも、ボーイスカウトで得たものが役立つ場面はたくさんある。そのような場面に出会うたび、私はボーイスカウトに感謝するとともに、スカウトである自分を誇りに思うのである。まだ話したいことはたくさんあるけれども、今回はこの辺にしておこう。

ローバー隊隊長 渡口要

B-Pとシャーロック・ホームズ、そしてアインシュタイン — 観察と推論 —

(第1回/全8回)

ひとつ予言をしましょう。今年2017年のノーベル物理学賞は「重力波の直接観測」に対して与えられます。さあ、10月の発表をお楽しみに！

1. B-Pとシャーロック・ホームズ

B-P祭がありました。この機会に『Scouting for Boys』を読んだスカウトはいたでしょうか？ この本は、言わずと知れたボーイスカウトの原点と言うべきB-Pの著作です。109年前の1908年に出版された本ですが、今でも大変面白く読めます。現代の我々にとっても魅力的な部分は、時代や地域を超えて普遍的に重要な記述になっている可能性が高い、ということとは

『Scouting for Boys』には、109年前のイギリスの少年にとっても、コンピュータやGPSなどの便利な道具に囲まれた21世紀の日本の少年にとっても、変わること無く大切なことがたくさん書かれていると言えます。

この本の中でB-Pは、アーサー・コナン・ドイルの小説の主人公シャーロック・ホームズのことを書いています。それは、「観察」と「推論」の重要性を説明する中で出てきます。英語ではobservation（観察）とdeduction（推論）です（『Scouting for Boys』の原典は、カナダ連盟のThe Dumpというホームページ：<http://www.thedump.scoutscan.com/s4b.html> に無料のpdfとしてupされています。このpdf上で、"observation"あるいは"deduction"を検索してみましょう。ちなみにこのサイトには、ボーイスカウト関連書籍のpdfが豊富にupされています。もちろん英語ですが）。スカウトの皆も良く知っている通り、ホームズは、現場を良く観察し深く推論することで事件を解決します（ホームズを知らない人は、青山剛昌の漫画『名探偵コナン』を思い出してもらっても良いです）。このような事件の解決法のことを、「推理（reasoning）」といいます。推理は観察と推論の2つから出来ている。そして、ホームズのような探偵（detective）が事件を解決する小説のことを「推理小説（detective story, 探偵小説）」と呼ぶのです。

『Scouting for Boys』の中でB-Pは、観察力と推論力を実践（practice）によって修得するべきだと書いています。具体的に言えば、キムスゲームや追跡ハイク（tracking, trail）などです。スカウトの皆はこれらのゲームを通して、観察力や推論力のトレーニングをしているのです。2017年1月のBSスキー訓練では夜プロで10円玉探しゲームをしましたが、あれも観察力を養うのが目的でした。B-Pは、スカウト達がボーイスカウト活動を通じて、自然の中で起こっていることをホームズのごとく推理出来るようになることを良しとしたのです。なぜなら、自然を舞台にした実践によって鍛えた観察力・推論力・推理力は、より良き市民（citizen）になるために役立つと考えたからです。

以下ではB-Pが以上のように考えた理由について私が思うことを散りばめながら、観察や推論について書いていきます。書いていてあまりに長くなってしまったので、全8回に分けてさくらに載せます（第8回が載るさくら10月号が出るのは、ノーベル物理学賞発表のタイミングとほぼ同時だと思われます）。もし早く全部読みたいというスカウトがいたら、近日公開予定のローバー隊のホームページを見てください。そこに全文を載せる予定です（ただし、さくらに載せるに当たって内容を簡略化するかもしれないので、ホームページとさくらの文章は異なる可能性があります）。スカウトの皆には、観察と推論が、どんな状況でどのようにして役立つのかに着目して読んで欲しい、それと同時に、先月のさくら2月号で書いた理論と実践の話の続きとして読んでもらえると思えます。そして、B-Pの言いたかったことは何なのか、自分なりに考えてみてください。

2. ホームズの科学捜査

19世紀後半にコナン・ドイルが「ホームズシリーズ」を発表したとき、現実の警察は犯罪捜査をもっぱら目撃情報と自白に頼っていましたが、それに対してホームズは「科学捜査」を行いました。現代の我々に

とって、現場に残された凶器や指紋や足跡から犯人を推定する科学捜査は当たり前のものに映ります。しかし実は、19世紀後半あるいは20世紀初頭においても、科学捜査は当たり前のことではなかったのです。歴史的には、ホームズシリーズを始めとした推理小説が、現実に先行して科学捜査を描きました。イギリス警察その他の捜査組織は、ホームズなどのフィクションを真似して科学捜査という方法を確立していったのです。

例えばエジプトの警察では一時期、ホームズシリーズを教科書として採用していたそうです。例えば科学捜査の父と言われるフランスのエドモンド・ロカールは、20世紀の初めに警察内に初の科学捜査研究所を設立しましたが、彼はホームズのファンでホームズのやり方を参考にしたのでした。例えばクリント・イーストウッド監督で、アメリカのFBI初代長官ジョン・エドガー・フーヴァーを描いた映画『J・エドガー』を観た人なら、科学捜査を導入しようとするエドガーが同僚に「ホームズの真似事か」と揶揄されるシーンを思い出すでしょう。

以上のことから分かる通り、観察力と推論力を駆使して科学的に推理を行うホームズという架空のキャラクターは、現実の警察よりも先に進んだ存在だったのです。『Scouting for Boys』は1908年出版です。この時点で、自然を舞台にしたボーイスカウト活動を通じて、ホームズのような能力を少年に身につけさせることができると考え、またそれが良き市民になるために役立つことを見抜いたB-Pの洞察は、実に慧眼だったと言えます。

ところで、ホームズの容姿が痩せ身・高身長（183cm以上）・鷲鼻で角張った顎だということが、1887年の第1作『緋色の研究』に書かれています。コナン・ドイルは、尖った鼻のインディアンとしてホームズをイメージしていたそうです。

B-Pが斥候（patrol）として活躍したのは主にインドや南アフリカでした。それらの場所に住むズールー族などの能力に感銘を受け、後のスカウティングのヒントにしたことはよく知られていますが、北アメリカの原住民であるインディアンもまた優れた斥候能力を持っていました。最近では、アレハンドロ・ゴンサレス・イニャリトゥ監督の映画『レヴェナント』が、インディアンの斥候能力・ガイド能力・サバイバル能力を魅力的に描いています。ちなみに斥候とは、軍隊が移動予定の場所を前もって偵察する役目、あるいはその役目を持った軍人のことを指します。「偵察」という熟語は、探偵の「偵」と観察の「察」から来ています。なるほど、という感じですね。

ホームズがコナン・ドイルによってインディアンのイメージで描かれていたことと、B-Pがホームズおよびズールー族をスカウトが目指すべきイメージとして本に書いたことは、偶然の一致ではないのかもしれませんが、B-Pの中では（そしてもしかしらコナン・ドイルの中でも）、ホームズの科学捜査とズールー族の能力（やインディアンの斥候能力）はどちらも、優れた観察力と推論力が両方揃って成立する「推理」であるという点で、同じイメージで捉えられていたのではないのでしょうか。

（つづく）



会議報告

●育成会役員会 2月17日(金)10:00～ 等々力出張所まちづくりセンター活動フロア
*入団説明会チラシ印刷・仕分け作業と平行して、役員会を実施。

1. 九品仏5団バザー反省と九品仏もちつき実行委員会反省会報告
2. 入団説明会のお手伝い 育成会より3名予定
3. 会計監査(上進式)日程・準備確認
4. 総会準備確認
5. 会計より会費振込過不足への対応について

●団会議・団委員会 2月25日19:00～ 奥沢地区会館第2会議室

- ★ 地区面談(2/11)の結果、今年度も無事登録終了
- ★ 各隊報告
- ★ 29年度団補助
B V S 隊:40,000円
C S 隊:200,000円
B S 隊:200,000円
V S 隊:80,000円
R S 隊:80,000円
- ★ 65周年記念団キャンポリー(8月4日～7日)の計画
「長者の森」を検討・・・土屋C S 隊長より説明
- ★ リーダー編成について



会議予定

- 3月12日(日) 「入団説明会」 13:30～ 玉堤地区会館第2会議室
3月24日(金) 団委員会・団会議 20:00～ 奥沢地区会館第2会議室
育成会役員会 3月中旬で調整中
1. 会計監査、総会準備確認
2. 次期役員選出方法 等

育成会より

2/17 有志の方のご協力をいただき、入団説明会のチラシを2623枚印刷、近隣の小学校・幼稚園・保育園・児童館等18ヶ所に配布しました。ありがとうございました。



そなえよつねに
ボーイスカウト

コミュニケーションロゴ

このコミュニケーションロゴは、日本におけるスカウト運動の統一のイメージを示すもので、ボーイスカウトの広報活動や組織拡充活動等に使用するものです。なお、日本連盟加盟員が普及資料や団等の機関誌、名刺、ホームページ等でガイドに従い使用する場合は、許可申請を必要としません。ダウンロードの上、皆様ぜひご利用ください。 http://www.scout.or.jp/for_members/comlogo.html (日本連盟ウェブサイトより転載)

17th
NIPPON SCOUT
JAMB●OREE

平成30(2018)年8月4日～10日

りふれっしゅ村鉢ヶ崎

